

平成28年度環境放射能測定の実施について

1 農産物と魚介類における測定の現況

県及び女川町・石巻市と東北電力株式会社は、女川原子力発電所に関し地域住民の健康を守り生活環境の保全を図るため、「女川原子力発電所周辺の安全確保に関する協定書」において「環境放射能及び温排水測定基本計画」に基づき発電所周辺の環境放射能を測定することとされている。その具体的な試料名や地点等については、「環境放射能測定実施計画」（以下「実施計画」という。）で定められている。

しかし、東日本大震災の津波により農地や養殖棚が被害を受けたなどの理由で農産物や魚介類の一部は実施計画どおり採取できなくなっているため、一時的な欠測扱いまたは代替地点における採取によって、現在のところ暫定的に測定を継続してきた。

東日本大震災から約5年が経過し、被災地も復旧しつつあることから、これらの試料に係る取扱いを検討するため、女川町及び石巻市から試料採取に係る情報を収集し、現況を調査し、今後の方針について検討したので報告する。

試料採取ができないため欠測となっている試料と、代替地点にて採取している試料について調査した結果は、下表のとおりである。

2 今後の対応

平成28年度の環境放射能の測定については、現状を踏まえて別紙のとおりとし、今後栽培状況等についてさらに情報収集する。

なお、現在の暫定的に測定している状況から効果的な監視体制を確立するため実施計画等を見直し、次年度中に案を示したい。

表 東日本大震災後欠測または代替地点にて採取している試料

試料名	地点	採取頻度	採取状況 (平成27年度)	現況の調査結果	実施計画修正に当たって の今後の方向性等
精米	谷川	1回/年	欠測	周辺地域 ^{*1} において、販売目的では栽培されていない。	自家栽培している所があるか等を現地調査する。
大根 (根・葉)	谷川 横浦		欠測 大沢で 代替採取		
ホヤ	小屋取		塚浜で 代替採取	放水口付近、前面海域 ^{*2} 、周辺海域 ^{*3} における養殖の状況が変わる見込みはない。	代替地点で採取を継続する。
カキ	飯子浜		野々浜で 代替採取		
	竹浦		尾浦で 代替採取		
	出島		欠測		

*1 施設から約10km以内で施設の敷地内を含む

*2 大貝崎と早崎の先端を結ぶ直線の内側で放水口付近を除く

*3 施設から約10km以内で放水口付近、前面海域及び対照海域を除く

平成28年度 環境放射能の測定について

検出器及び試料名		実施者	地点数	頻度 回/年	試料数 試料/年	測定又は採取地点名	採取時期	備考	
陸上試料	農産物	精米	地方自治体	< 1 >	< 1 >	< 1 >	<谷川>	収穫期	* 1
			施設者	1	1	1	大原	収穫期	* 2
		大根(根・葉)	地方自治体	< 1 >	< 1 >	< 2 >	<谷川>	収穫期	* 1
			施設者	1	1	2	大沢(横浦)の代替	収穫期	* 1
	陸水	水道原水	地方自治体	2	2	4	大石原(野々浜),前網	7,1月	
			施設者	1	4	4	飯子浜	毎四半期	
	陸土	未耕土	地方自治体	2	1	2	谷川、※大崎市岩出山	6月	
			施設者	1	1	1	牡鹿ゲート付近	12月	
	浮遊じん	浮遊じん	地方自治体	2	12	24	モニタリングステーション(女川,寄磯)	毎月	
			施設者	2	12	24	モニタリングステーション(塚浜,前網)	毎月	
				2	4	8	モニタリングステーション(寺間,江島)	毎四半期	
			降物	雨水、ちり	地方自治体	2	12	24	女川町浦宿浜(県職員宿舎)、※仙台市宮城野区(県環境放射線監視センター)
	施設者	3			4	12	旧女川三小,水産技センター,大原小	毎四半期	
		2			12	24	小屋取,牡鹿ゲート	毎月	
	2	4			8	塚浜,付替県道	毎四半期		
	指標植物	ヨモギ	地方自治体	2	1	2	谷川、※大崎市岩出山	7月	
			施設者	1	1	1	前網	7月	
		松葉	施設者	1	4	4	小屋取	5,8,11,2月	
			2	2	4	牡鹿ゲート付近,付替県道	5,11月		
	海洋試料	魚介類	アイナメ	地方自治体	1	1	1	前面海域	漁期
施設者				1	2	2	前面海域	漁期	
カキ			地方自治体	1	1	1	野々浜(地先)<<飯子浜(地先)>>の代替	漁期	* 3
				1	1	1	尾浦(地先)<<竹浦(地先)>>の代替	漁期	
			< 1 >	< 1 >	< 1 >	<出島(地先)>	漁期		
			1	1	1	※気仙沼(地先)	漁期		
施設者			1	2	2	飯子浜(地先)	漁期		
アワビ			地方自治体	1	1	1	放水口付近	漁期	
ウニ			施設者	1	1	1	小屋取(地先)	漁期	
ホヤ			地方自治体	2	1	2	小屋取,塚浜(各地先)	漁期	
		施設者	1	1	1	塚浜(地先)<<小屋取(地先)>>の代替	漁期	* 3	
海藻		ワカメ	地方自治体	2	1	2	放水口付近,前面海域	漁期	
			施設者	1	2	2	放水口付近	漁期	
海水		表層水	地方自治体	1	2	2(共沈法)	放水口付近	5,11月	
				6	6(迅速法)		5,8,9,11,2,3月		
				1	2	2	鮫浦湾	5,11月	
			施設者	1	1	1	※気仙沼湾	10月	
				1	4	4(共沈法)	放水口付近	4,7,10,1月	
				6	6(迅速法)		4,6,7,10,12,1月		
		海底土(砂)	表層土	地方自治体	2	2	4	放水口付近,鮫浦湾	5,11月
	施設者			1	1	1	※気仙沼湾	10月	
	2			4	8	放水口付近,取水口付近	4,7,10,1月		
	指標海産物			アラメ	地方自治体	1	4	4(灰化法)	放水口付近
4(迅速法)									
2		4	8(灰化法)		※対照海域の2地点(北側,西側)	5,8,11,2月			
8(迅速法)									
施設者		1	4		4(灰化法)	前面海域	5,8,11,2月		
		4(迅速法)							
1	4	4(灰化法)	周辺海域	5,8,11,2月					
4(迅速法)									
ムラサキガイ	地方自治体	1	2	2	前面海域	4,10月			
	施設者	1	2	2	前面海域	7,1月			
環境放射能試料数合計		地方自治体			125			* 4	
		施設者			137				

* 1 農耕地の復旧状況により地点を検討
 * 2 平成25年度1検体廃止
 * 3 養殖の復旧状況により採取地点を検討
 * 4 試料合計数には、<>内の試料数も含む

震災の影響により試料を入手できないものは、<>を示す。
 ※印は比較のための対照地点(海域)であることを示す。
 は現状,欠測または代替地点にて採取している試料を示す。